

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	久保木 孝		
居室	東4-524		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kuboki@mce.uec.ac.jp	http://www.murata.mce.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>プログラミングは、機械工学やその他の工学分野において、研究や開発を推進するために広く用いられており、例えば、機械制御や数値解析などに欠くことのできない技術である。本科目では、C言語を例に、プログラミングの基礎知識を学び、簡単なプログラムを組むことができることを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
コンピュータリテラシー

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>教科書：なし</p> <p>参考書1：「C言語によるプログラミングスーパーリファレンス編」(オーム社) 内田智史、秋元勝、北川雅巳、大津崇 共著</p> <p>参考書2：「C実践プログラミング、第3版」(オーム社) Steve Oualline著、望月康司 監訳、谷口功 訳</p>

【授業内容とその進め方】

演習を中心に授業を進める。ディスプレイ等を使用して操作方法を具体的に説明する。課題は、主としてプログラミング作成とし、期日までにメールにて提出してもらう。

取り扱う内容は以下の通り。

- ・ コンピュータとプログラミング言語
- ・ C言語のスタイル
- ・ データ型
- ・ 演算子
- ・ 書式制御
- ・ 制御文(選択処理、繰り返し処理)
- ・ 配列
- ・ 関数
- ・ 文字列
- ・ ファイル操作

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

授業への出席と課題の提出を重視し、これらに学期末試験の結果を加味して以下のように成績を算出する。なお、課題の提出に際して、コンパイルできないソースコードは課題の評価対象としない。

$$\text{成績評価} = (\text{課題の評価} \times 1/2) + (\text{期末試験} \times 1/2)$$

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- (1) 授業への2/3以上の出席
- (2) UNIX環境下での簡単なC言語プログラムの作成

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。

その他、質問等を電子メールでも受け付ける。

【学生へのメッセージ】

簡単なプログラミングができることは、機械系学生に求められる一つの"作法"であると思っています。例えば、将来、自分でプログラムを組むことが必要となる場合や、或いは、自分で組むことはなくとも他の人に依頼しなくてはならない場合が十分に想定されます。

本科目において、実際に手を使うことによって、プログラミングの基礎的な技術・知識を修得して頂き、また、思い通りのプログラムが完成したときの喜びを体験して頂きたいと思っています。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【その他】